



## 目に入った「ごみ」はどうなるの

### 目に入った「ごみ」は、なみだで流される

なみだは、泣いたときだけでなく、いつも目の表面を少しずつ流れていて、「ごみ」や「ほこり」を流したり、ばい菌が入ると殺したりして、わたしたちの目を守っています。

目に入った「ごみ」が小さいときには、「ごみ」は、目から鼻につながっている、鼻涙管という管を通して、なみだといっしょに鼻へ流され、鼻水になります。そして、「ごみ」が、鼻涙管に入らないくらい大きいときには、目の外へ、なみだで流し出されるのです。

### なみだをつくったり、ためたり、出したりするのは涙腺

両目の上の、上まぶたの外側には、涙腺というなみだをつくったり、ためたり、出したりするものがあり、なみだは、そこから出て流れているのです。

なみだは、目に入ってきた、ばい菌を殺すはたらきをしていますが、その薬のようなものは、リゾチームとよばれるものです。また、なみだの中には、ほんの少しですが塩分もふくまれています。そのため、なみだはしょっぱいのです。（監修・保志 宏）

